

- 問1 奈良時代、聖武天皇の招きを受け、日本の僧侶に正しいルールである「戒律」を授けるために来日した唐の僧侶は誰か。また、その人物が建立した、当時の唐の建築様式を伝える代表的な寺院の名称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 鑑真と唐招提寺 2. 行基と東大寺 3. 空海と金剛峯寺 4. 最澄と延暦寺
- 問2 奈良時代、日本では中国の王朝でつくられた貨幣にならい、円形で中央に正方形の穴が開き、表面に文字が刻まれた形式の貨幣が鑄造された。この貨幣のモデルとなり、当時の日本が政治や文化の手本とした中国の王朝を選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 唐 2. 宋 3. 明 4. 元
- 問3 8世紀の奈良時代、聖武天皇のころを中心として栄えた、遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受けた文化を何と呼びますか。東大寺の正倉院に収められた宝物にペルシアやインドの影響が見られるような、国際色豊かな特色を持つものを選びなさい。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 天平文化 2. 弘仁・貞観文化 3. 国風文化 4. 飛鳥文化
- 問4 奈良時代の中頃、疫病の流行や政治の混乱が続いたことを背景に、聖武天皇が仏教の力によって国家の安定を図ろうとした考え方を何と呼ぶか。また、その考えに基づいて全国各地に建立された寺院の組み合わせとして正しいものを選べ。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 禅宗の思想に基づいた公認の五山 2. 鎮護国家の思想に基づいた国分寺・国分尼寺 3. 神仏習合の思想に基づいた神宮寺 4. 浄土信仰に基づいた阿弥陀堂
- 問5 遣唐使の要請によって来日した鑑真が、当時の日本において果たした最も重要な役割は何ですか。当時の政治体制（律令制度）との関わりに注目して選んでください。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
1. 大化の改新のあとに、公地公民の原則に基づいた新しい土地制度を全国に広めた 2. 正式な僧となるための儀式を行い、僧が守るべき規範を広めて国家による仏教統制を支えた 3. 東北地方の豪族をまとめ上げ、平泉を中心に独自の仏教文化を花開かせた 4. 武士の勢力を結集して平将門の乱を鎮め、天皇中心の政治を盤石なものにした
- 問6 奈良時代の出来事を記した略年表において、聖武天皇が国分寺建立の詔（みことのり）を出した時期と同時期に栄えた「天平文化」の特色を説明したものとして、正しいものはどれか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 国学や蘭学が発達し、庶民の間でも読み・書き・算盤が普及した。 2. 平氏一族が権力を握り、厳島神社の造営など貴族的な文化が華開いた。 3. 武士の台頭を背景に、力強く素朴な気風をもった文化が全国的に広まった。 4. 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色をもつ。
- 問7 奈良時代、聖武天皇の招きに応じて唐から日本へ渡ろうとし、5度の失敗と失明を乗り越えて来日を果たした僧侶は誰ですか。両目を閉じ、静かに座った姿の彫像が安置されている、彼が建立した唐招提寺の歴史的背景をもとに答えなさい。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. 行基 2. 空海 3. 道鏡 4. 鑑真
- 問8 大宝律令によって確立された地方行政制度において、中央政府から全国の各「国」に派遣され、その地域の政治、徴税、裁判などを統括した役職として正しいものを選択してください。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 国司 2. 防人 3. 郡司 4. 里長
- 問9 7世紀から9世紀にかけて、日本が律令などの進んだ制度や仏教文化を直接学ぶために、たびたび使節を派遣した中国の王朝はどこか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 宋 2. 唐 3. 漢 4. 魏
- 問10 聖武天皇が「鎮護国家」の思想に基づいて全国に展開した政策として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 平安京に東寺と西寺を建て、全国の主要な山々に修験道の道場を開いた 2. 遣唐使を派遣して最新の儒教を取り入れ、官僚養成のための大学を全国に作った 3. 地方の豪族を郡司に任命し、各地の神社を管理させる制度を整えた 4. 全国の諸国ごとに国分寺・国分尼寺を建て、都の東大寺には大仏を造った
- 問11 東大寺の大仏造立は、莫大な費用と人手を要する国家的な大事業でした。この事業を推進するにあたり、かつては朝廷から布教を制限されていましたが、民衆への社会奉仕活動を通じて絶大な支持を得ていたため、最終的に大仏造立の勸進（協力呼びかけ）として迎えられた僧はだれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
1. 行基 2. 空海 3. 道鏡 4. 鑑真
- 問12 奈良時代の文化を象徴する建造物の一つに、東大寺の正倉院がある。この建物にペルシャやインドの影響を受けた工芸品が多数納められている理由として、当時の日本の対外関係をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 日本独自の国風文化が広まり、海外との交流を断って国内の伝統工芸を保護したため 2. 仏教の伝来とともに、百済（くだら）から多くの渡来人が工芸技術を直接日本へ伝えたため 3. 遣唐使が、唐の都である長安に集まっていた西アジアや中央アジアの文物を日本に持ち帰ったため 4. モンゴル帝国によるユーラシア大陸の統一により、陸路での貿易がかつてないほど活発になったため
- 問13 ある歴史資料において、唐の僧である鑑真の没年が西暦763年と記述されていた。この時期は何世紀にあたるか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 6世紀 2. 7世紀 3. 9世紀 4. 8世紀
- 問14 奈良時代の仏教政策において、唐から鑑真が招かれた主な目的と、その後の影響について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 正しい戒律を伝えて僧侶の資格を厳格化し、律宗を広めて仏教界の秩序を整えるため 2. 比叡山に延暦寺を建立し、天台宗の教えによって国家の安泰を図るため 3. 困窮する人々のために橋の建設や社会事業を行い、民衆への布教を直接促すため 4. 真言宗の教えを広めることで、貴族だけでなく広く地方の武士にも信仰を浸透させるため